

# チューンはさまざまだけど、や なつてしまつた。

7位 フェアレディZ-T 14.75秒

森 健(大阪府)



ホンダのS8やGTRも持つてたけど、最後はZになりました。あと1位上がってればトロフィーがもらえたのに残念（森健・26才・自由業）



8位 フェアレディZ-L 14.84秒

林和之(東京都)



ニューZでは最高のタイムをマークした64年式の2シーターだ。エンジンはEGIをはずしたL28改の3097ccにソレックスのレース用44φというチュ

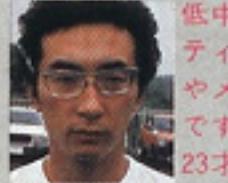
ーン。タコ足から続くアメリカンタイプのデュアルマフラーが両端に大きく突き出している。サスとショックはハヤシで、ポルクの7.5JにピレリーパーツR205/60のコンビ。軽量化はいつさいしていないフル装備のZでこのタイムはなかなかのモノ。

◆ “レッドゾーン”というグループが組がかりで作りあげたマシン。ワークスのオーバーフェンダーにヘッドライトを埋めた外観は、出場車中で最も、“族っぽい”けれど、決して見かけ倒しじゃなかつた。L28改の3リッターにウエーバー45φ、50φのタコ足にストレートマフラーというエンジンチューンもさることながら、FRP製のボンネットとリアゲート、フロント以外のアクリルガラスをはじめ、内外装共にとにかく軽量化されている。

ニューZの2リッターモデルにL28Eを搭載し、排気量とEGIはそのままでチューニングしたストリートマシンだ。とはいえ、各部のバランスは綿密にとりなおし、カムやインマニは交換、EGIのコンピューター、エアフローメーターもチューンし、タコ足とデュアルも付く。サス/ショックと、Tバールーフなどの外観はヨーロッパ仕様で決める。当日は前にワタナベ7.5JとミシュランXDX205/60、後にSスター9JとピレリーパーツR225/55というタイヤの選択もよかつたみたい。

10位 フェアレディZ 15.03秒

低中速のフレキシビリティが自慢です。燃費やメンテナンスもいいですよ（高賀茂哲弘・23才・自営業）



◆ CDIはコーデイ製、フラグはプラチナの9番を使う